

# 全労連・非正規センターニュース

発行： 全労連  
Tel 03-5842-5611  
東京都文京区湯島 2-4-4  
Eメール part@zenroren.gr.jp

## ●東北・北海道つなぐ最賃オンライン集会 6会場、238回再生



北海道労連と全労連東北ブロックは、5月16日、最低賃金のオンライン交流集会を開催。

全労連の黒澤事務局長から、最賃をめぐる状況、コロナ禍での影響、最低生計費試算調査の結果、中小企業支援策、運動の広がり、今後の方向性の5つの柱で報告がありました。

各県からは、医療、小売、サービス、大学、公務などの非正規労働者の現状と、最賃引き上げの必要について報告が

ありました。札幌ローカルユニオン結の小浦さんは、大手食品メーカーの下請け会社に25年勤務しているが、賃金は最賃と数円の差しかなく、最賃がみずからの賃金と直接連動していることを報告しました。そして、「消費税はドンドンあがるけど、その分賃金があがっているわけではない。何か欲しい物や、習い事をしたくても、金額であきらめざるをえない。『ガマンするのがいいこと』と自分に言い聞かせるようにしている。」「ずっと自立できず実家で生活している。自立するには1000円でも足りません。」と審議会への要望を語りました。

引用元：道労連 NEWS 2021.5.17版

## ●北海道労働局に東北ブロックとの連名・統一要望書を提出 北海道労連

道労連は5月17日、北海道労働局へ「最低賃金の引き上げと中小零細企業支援の拡充、及び中小零細企業支援の拡充、及び最低賃金引き上げに関連する労働行政の改善を求める要請」を提出しました。

要請項目は、「今年度の最賃はただちに『時間額1000円』以上をめざす」、「地域別最賃のA・B・C・Dランクを廃止し、全国一律最賃制度を確立する」、「中小企業負担を軽減する直接支援を導入する」、「最賃審議会の委員の選任は労働団体の系統の違いに配慮しバランスよく選出する」、「労働基準監督官、事務官、技官について、正規職員を中心とした職員体制を拡充強化する」などです。

道労連の三上議長は、コロナ問題の長期化の中で、とりわけパート・派遣・契約・アルバイトなど非正規雇用やフリーランスで働く労働者が、失業や労働時間削減（収入減）に追い込まれていることや、エッセンシャルワーカーは最賃近傍の低賃金で働いている人が多いことにふれ、昨年「ゼロ答申」は「賃金引き上げに強力なブレーキをかける結果となった。今年は必ず引き上げを行うよう審議を尽くしてもらいたい」と要請しました。

引用元：道労連 NEWS 2021.5.17版



## ●全職員への「臨時特別賞与」支給 全医労

全医労は、コロナ禍での労働に見合った全職員の処遇改善を求め、5月19日、非常勤職員をふくめた全職員に「臨時特別賞与」を勝ち取りました。また、非常勤職員の経験年数に見合った抜本的処遇改善、時間給単価、病気休暇など無給となっている休暇の有給化などを強く要求しました。

参考：全医労テレファックスニュース第72号（2021/5/19）

## ●広大保育士16名、全員が正規雇用に転換

広島大学病院院内保育所たんぽぽ保育園では、4月1日よりフルタイム保育士16名全員の正規職員への転換を勝ち取りました。たんぽぽ保育園の雇用形態は、「保育士」の職名がない契約専門職員で、退職金もありませんでした。正規職員の募集をしても何年も応募者がこない状態。

職員不足を補うために、求人サイトに多くの費用をかけたが、延長の時間帯は午前中のパート職員でなんとか繋いでいました。保育士不足の背景には、保育士の劣悪な処遇があることが明らかとなり、この度「保育士の正規化」が実現しました。たんぽぽ保育園では、下記のような成果を勝ち取っています。

保育所の直営化、新園建設、定員増・コロナ対応慰労金として10万円支給 保育士たちからは「日頃の保育への熱意や頑張りが認められ嬉しい」「これで安心して働き続けられる」と喜びの声があがっています。

参考：医労連保育所ニュース No.146(2021/5/10)